

2022年 2月 20日

## 主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 洋子姉

賛 美 聖歌592番 ～ワン・ボイス～

パウロの祈り②

聖書朗読 サムエル記下15章1～12節

特別賛美 「主の恵み」チェ・ドクシン氏（2017年10月8日）

メッセージ 「主に人生をお任せする」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌396番 ～イエス愛します・主よ感謝します～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～イエス様は私たちの道～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝します。今週も主の守りと助けをお祈り致します！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会：明朝6時～。◎祈祷会：木曜午前10時半～  
夜7時半～（大和の祈祷会映像に参加）○準備祈祷会：土曜夜8時～。

★来週の日曜礼拝も4回行います。〈司：石井 秀人兄／祈：白川 達男兄〉。

◎今後の主な予定：卒業祝福式3／6・20（日）、信徒懇談会3／27（日）

☆一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan〔2/20－/27〕

| Date | 日         | 月      | 火      | 水       | 木      | 金      | 土      | 日      |
|------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 旧約   | レビ記 22-23 | 24-25  | 26-27  | 民数記 1-2 | 3-4    | 5-6    | 7      | 8-10   |
| 新約   | マルコ 3     | 4:1-20 | :21-41 | 5:1-20  | :21-43 | 6:1-29 | :30-56 | 7:1-23 |
| チェック | 〇〇〇       | 〇〇〇    | 〇〇〇    | 〇〇〇     | 〇〇〇    | 〇〇〇    | 〇〇     | 〇〇〇〇   |

## 「主に人生をお任せする」

～新しい生き方の模索～

「そこで王はザドクに言った、『神の箱を町にかきもどすがよい。もしわたしが主の前に恵みを得るならば、主はわたしを連れ帰って、わたしにその箱とそのすまいとを見さしてくださるであらう。しかしもし主が、「わたしはおまえを喜ばない」とそう言われるのであれば、どうぞ主が良しと思われることをわたしにしてくださるように。わたしはここにおります。』」

サムエル記下15章25～26節

バテシバとの姦淫の罪、そして、ウリヤを殺してしまった罪。決して赦されない罪ではありましたが、主は直後に悔い改めたダビデを赦されました。しかし、不問に伏すわけではなく、ダビデの息子たちの中で大きな問題が起こることを許されました。

まず、長兄が腹違いの妹を力づくで自分のものとしたことが書かれています(13章)。その結果、その妹の実の兄であるアブサロムが自分の妹を辱めた兄アムノンを殺害するという事件に発展していきます。この兄弟喧嘩を超えた殺人事件を通して、ダビデと息子アブサロムの関係に大きな溝が生まれ、この長男と次男との争いが、そのまま、ダビデ家の世継ぎ問題に大きな傷がついてしまい、ダビデ家全体の問題へと発展していきました。アブサロムがヘbronで王となったという知らせを聞いたダビデは、その息子の謀反に対して制するということをしせず、その政権をすんなり譲ってしまいます。ほとんどの家来はダビデに従いましたが、首都エルサレムは息子アブサロムのものとなってしまいます。

神の箱をエルサレムに戻したダビデの思いは、この問題の解決を自分自身ではなく、神様ご自身にお任せしたことを意味していました。詩篇3篇はアブサロムを避けて逃げた時に歌われた詩篇ですが、8節では、「救い(「勝利」の意)は主のものです。どうかあなたの祝福があなたの民の上にありますように」と歌っています。自分自身に勝利があるのではなく、主ご自身に勝利があるということを認め、その上で、この争いによって、イスラエルの民が不幸になってしまうのではなく、民の祝福につながるようにという願いを主に訴えています。

現在、私たちはいつ止むか分からないウイルスとの闘いの中で八方塞がりのような状況を経験しています。この全世界に拡大している災害の結果、すべて人々が被災している状況で、今までとは違う人生を歩まざるを得ない状況になっています。ある意味では、私たちの人生が奪われたと考えてしまいが、別の考え方では、私たちは予期せぬ極小の来訪者を通して強制的にはありますが、全く新しい人生を提供されたとも受け取れます。新しい人生を突然与えられた私たちは、奪われたのではなく、上から与えられた新しい人生を勇気と、信仰を持って、主に任せ生きていくことを問われているのではないのでしょうか。